

伴侶の死を乗り越える集い

虹の架け橋

大切な伴侶を亡くされたあなたへ

二〇一六年五月
（）挨拶 代表 高橋

あと3ヶ月で虹の架け橋も設立3年を迎えます。虹の架け橋の他にも伴侶死別のグリーンフ団体は東京近郊にあります。そのほとんどが民間ボランティア団体ですが、地方自治体や宗教団体等が行っているものもあります。

本会の前身でもある「旧ほほえみネットワーク」から独立し設立された団体も幾つかありますが、色々な選択肢がある事は死別された方々にとって良い事であるし、その意味では旧ほほえみネットワークの功績は大きいと思います。しかしながらいずれの団体も死別された方から認知されにくい状況や地方の方からの問い合わせに答えられない等これから改善しなければならぬ課題はたくさんあるのです。

寄り添っていた伴侶を喪った事で、死別を経験されていない方には、今のご自分の苦しい気持ちをわかってもらえない事が一番辛いのではないのでしょうか？

大切なのは人の輪であり、誰かに話をすることにより心の癒しに繋がります。整理ができ、話を聴く事で新しい生きの手掛かりを見つけれられるのだと思います。

「虹の架け橋」のスタッフ募集について

お陰様で、本会もこの8月で丸3年を迎えることとなります。その間に、予想に反して多くの方が入会して下さって大変有難く感謝をしている一方、現在の事務局スタッフの人数では、負担が多くなってしまいかなりの支障が出る様になってしまいました。

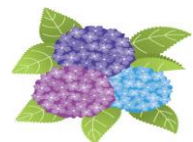
そこで、下記の①～④についての作業を、会の趣旨に賛同し、お手伝いして頂ける方を募集致します。

- ① 季刊誌をデータ（ワードorエクセル）で作成できる方（原稿は事務局で用意します。）
- ② 季刊誌の送付作業をして頂ける方
（原稿を印刷、切手購入、封筒に切手・住所ラベル貼付、季刊誌を封筒へ挿入後、投函）
- ③ イベントの企画・運営（申込者とのやりとり by E-Mail 含む。）
- ④ 死別回復支援プログラムの進行スタッフ [資格：死別回復支援プログラム（旧ほほえみのミーティング含む）終了の方]
*死別直後のとてもナーバスな方と接することになりますので、簡単な面接をさせて頂き、養成講座（6名以上で開催）を受講のち実地訓練の後、活動して頂きます。

* ボランティアの心得 **

1. 約束を守る
2. 個人の秘密は守る
3. 相手の立場に立って考えスタッフ同士協力する。
4. 自ら進んで、責任を持って活動する。
5. 自分を成長させる
6. 相手の話を共感的に聴く

興味のある方は、虹の架け橋事務局
info@nijinokakehashi.infoまでご連絡下さい。



※ この募集でスタッフが集まらない場合、来期の活動が若干縮小される場合があります。

※ ボランティアを通じて自分を認めて欲しい、評価して欲しい等見返りを求める方はボランティアには向きません。